

県まちづくり技術センターが主催

女子学生限定で土木職公務員の仕事紹介

「後世に残る達成感ある」

講師を務めた（左から）
上田さん、楠さん、森本
さん



道路や上下水道施設など社会インフラの整備を行う若手女性土木職公務員による、女子学生限定の仕事説明会「まち×ひと×しごと発見ツアー」が18日、Zoom（ズーム）を用いたオンラインで開催された。土木や建設について学ぶ県内外の大学及び高専の学生9人が参加し、本音で語り合った。

「まち×ひと×しごと発見ツアー」オンライン

説明会は、公共土木工 っている県まちづくり技 術センター（吉村文章理 事長）が主催。人材確 保に問題を抱える県及 び市町への入庁支援策 の一つとして実施。講 師は、姫路市区画整理 課の森本愛莉（あいり） さん（入庁2年目）、 太子町産業経済課の上 田彩可さん（同5年 目）、県道路保全課の 楠奈々さん（同12年目） が務めた。

森本さんは、姫路市 のJ・R網干駅周辺の土地 区画整理事業を担当し、 図面の作成や道路、河川 の施工監理などを経験。 「目に見えてまちの姿が 変わっていくことをやり がいを感じる」と語った。 上田さんは、農業用ため 池の耐震対策やハザード マップづくりなどを担当 している。農業者の高齡 化により維持管理が難し い現状を「農業者だけで はなく地元住民全体で、 守っていく取り組みが必

要」と話していた。

楠さんは、道路や道の 駅整備などでの実体験を 踏まえ「県民の安全・安 心や地域の活性化に携わ り、後世に残る達成感が ある」と公務員の魅力を

PRした。さらに、配偶 者同行休業制度を県で初 めて利用し、夫の海外赴 任に同行した経験や、産 休・育児の取得などライ フステージの変化に合わ せた働き方を紹介した。

参加者からは「やりが いのある仕事だと思っ た」「進路選択の参考に なった」「女性ならではの話しが聞けてとてもよ かった」などの意見があ った。

兵庫ジャーナル1863号
8月30日掲載